

「歩いていけるx-minute city」から「歩いていくx-minute city」へ 一人の類型化 (Go-WALKs) を通じて

○室岡太一・松場拓海・谷口守(筑波大学)

本プロジェクトのポイント

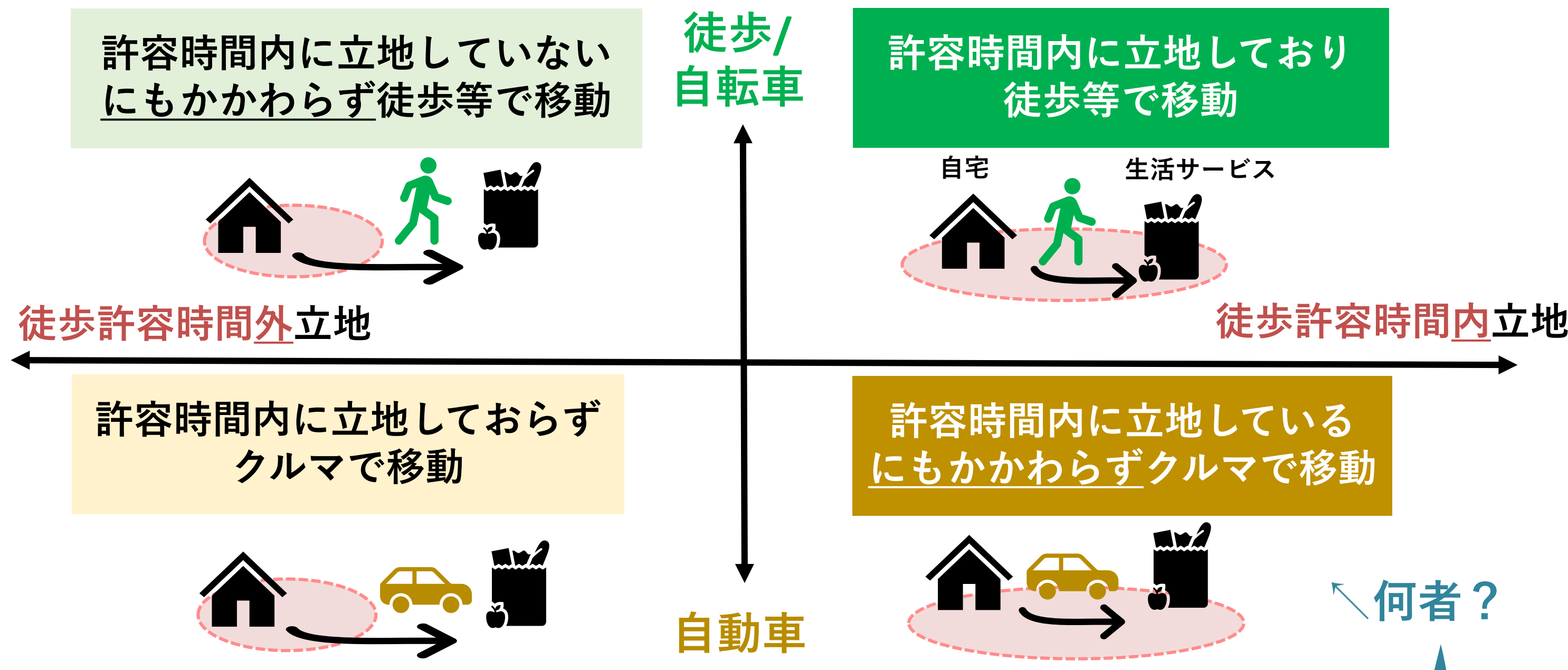
1.背景：x-minute cityの世界的注目

x分以内で生活サービスに徒歩や自転車アクセス可能

X分でアクセス可能であっても
実際に歩いていくとは限らない

- 「歩いていこう」と思える範囲（徒歩許容時間）内に施設が立地している？
- 実際の移動手段は？徒歩/自転車 or 自動車？

1)2)により個人を分類した総称:Go-WALKs
Groups of Walking Acceptability by Key Factors



歩いていくx-minute cityに向け、グループ別に
ライフスタイルの特徴を明らかにする

2.使用データ：独自アンケート調査

居住地から最寄りの商業施設までの
徒歩到達時間および年齢による層別化抽出(n=1000)

#立地・徒歩許容時間

- Q. 以下について①-⑤の中から選択してください
①～5分、②～10分、③～15分、④～20分、⑤21分～
- 自宅から最寄りの商業施設まで徒歩による到達時間
 自宅から商業施設まで「歩いていこう」と思える時間

#移動手段

- Q. 自宅から商業施設までの主な移動手段を教えてください

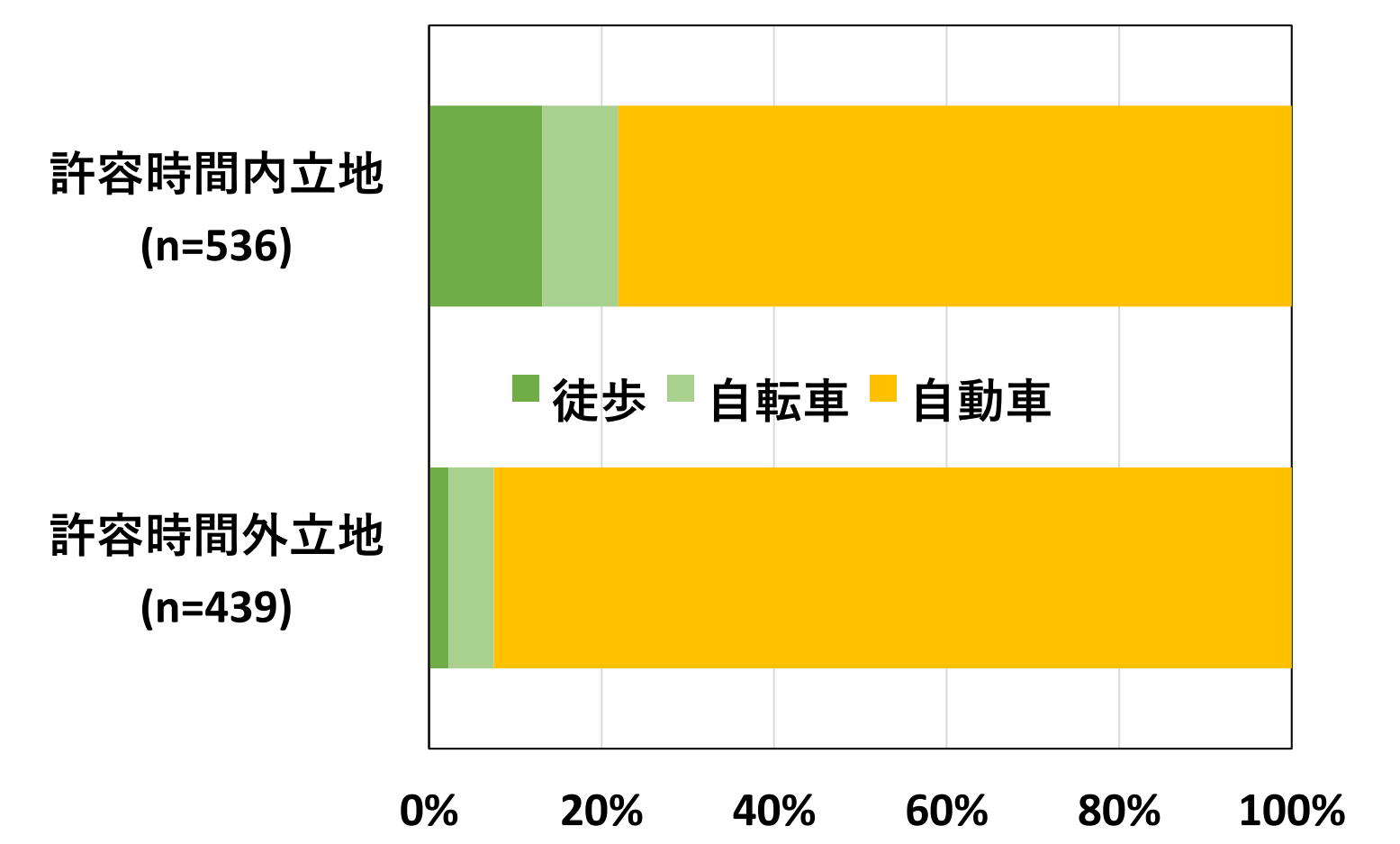
#ライフスタイル(5件法)

※重視項目、コロナによる生活の変化は4.参照

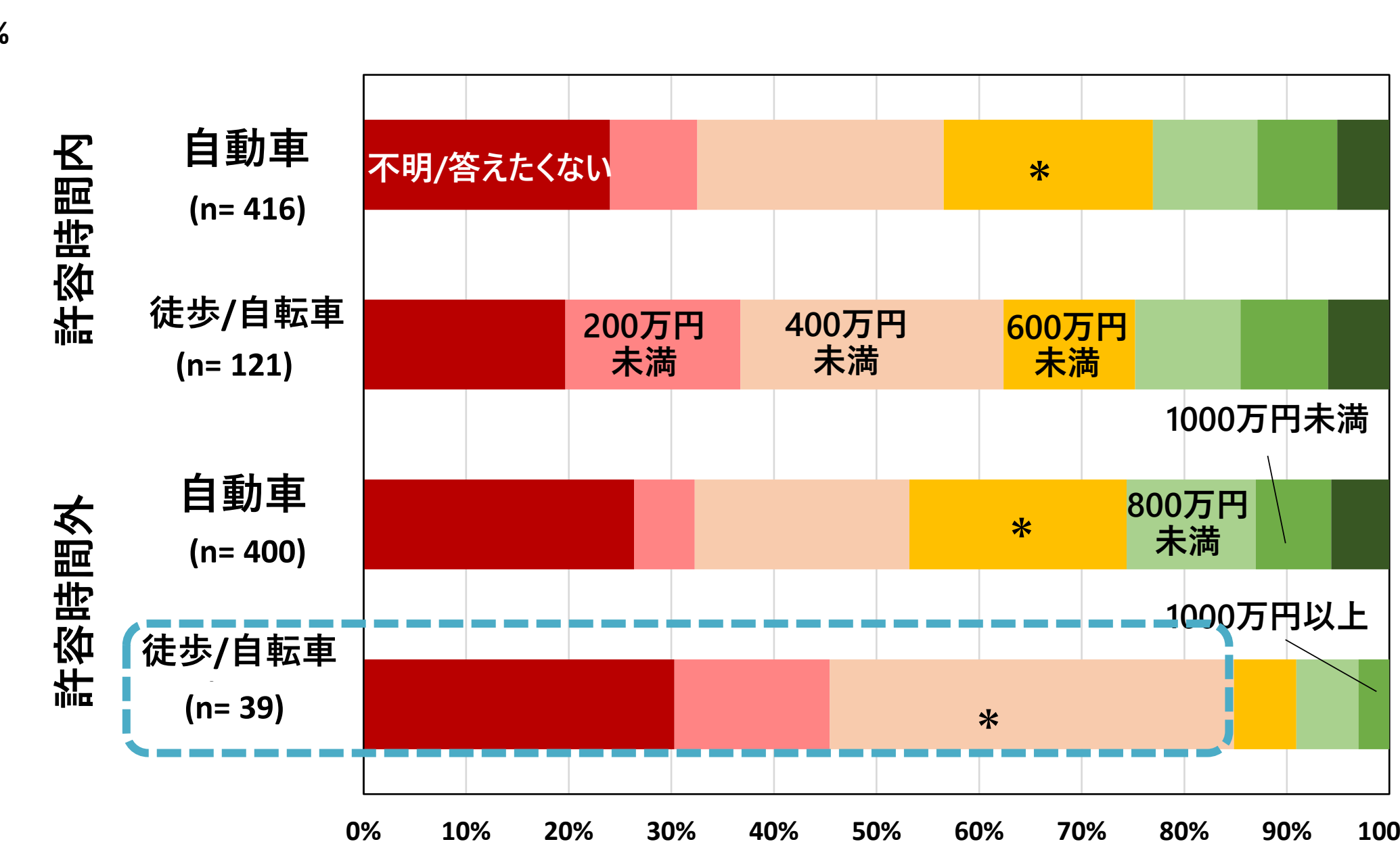
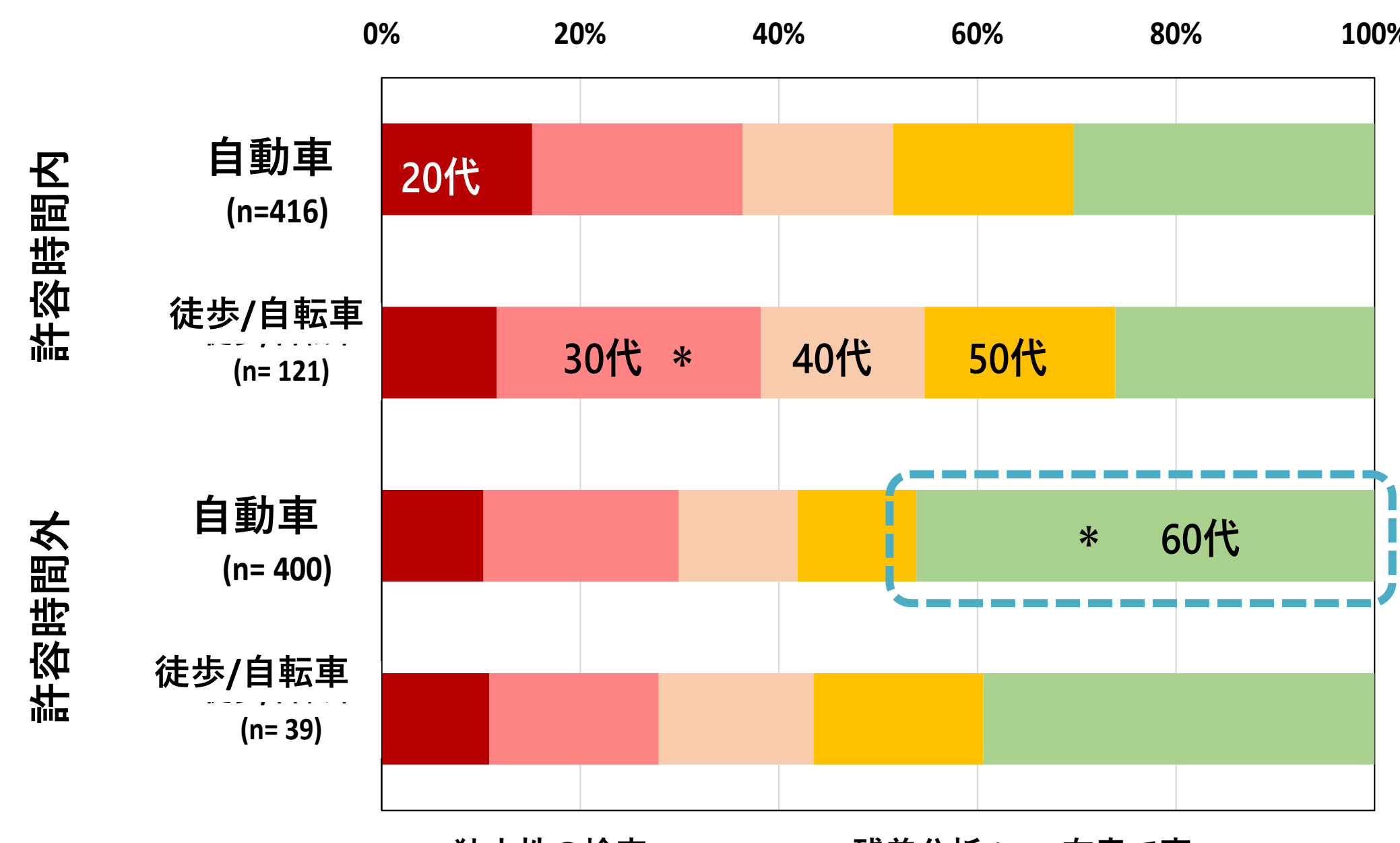
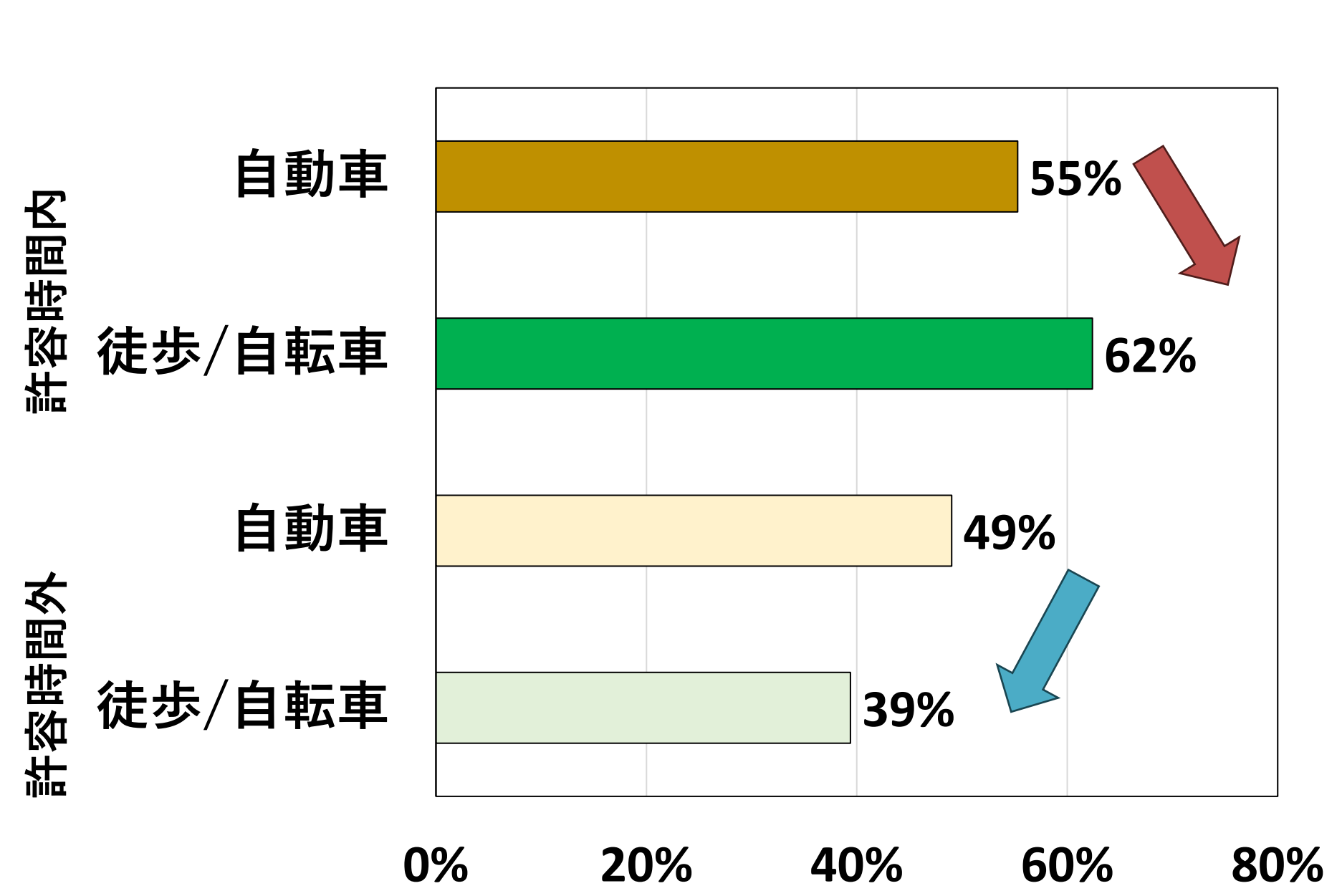
- Q. 自宅周辺の総合的な生活満足度を教えてください

表-1 許容時間と施設立地の関係

	許容時間内立地					許容時間外立地						
	徒歩許容時間(分)											
	~5	6~10	11~15	16~20	21~	総計	~5	6~10	11~15	16~20	21~	総計
徒歩到達時間(分)	60	67	33	19	19	198	37	76	39	17	20	189
徒歩許容時間(分)	23	30	33	9	6	101	19	45	47	23	26	160
徒歩許容時間(分)	60	91	55	25	89	320	277	417	169	58	54	968



3.グループ別の満足度・構成している個人属性



▶許容時間内に施設があることが重要

▶高齢者が自動車に依存？

▶貧困層が「歩かざるを得ない」状況

4.グループ別のライフスタイル

▶グループごとに割合算出

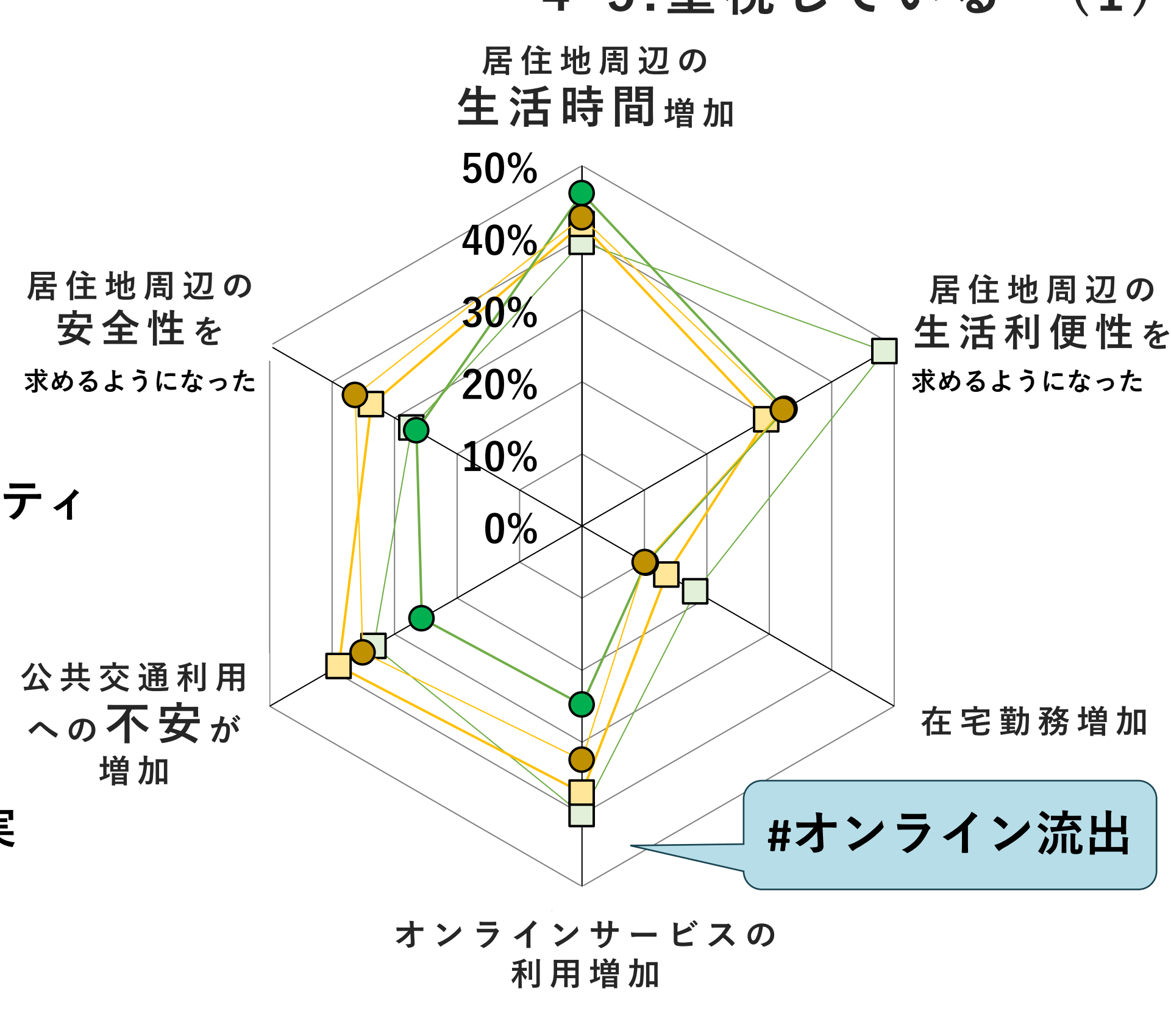
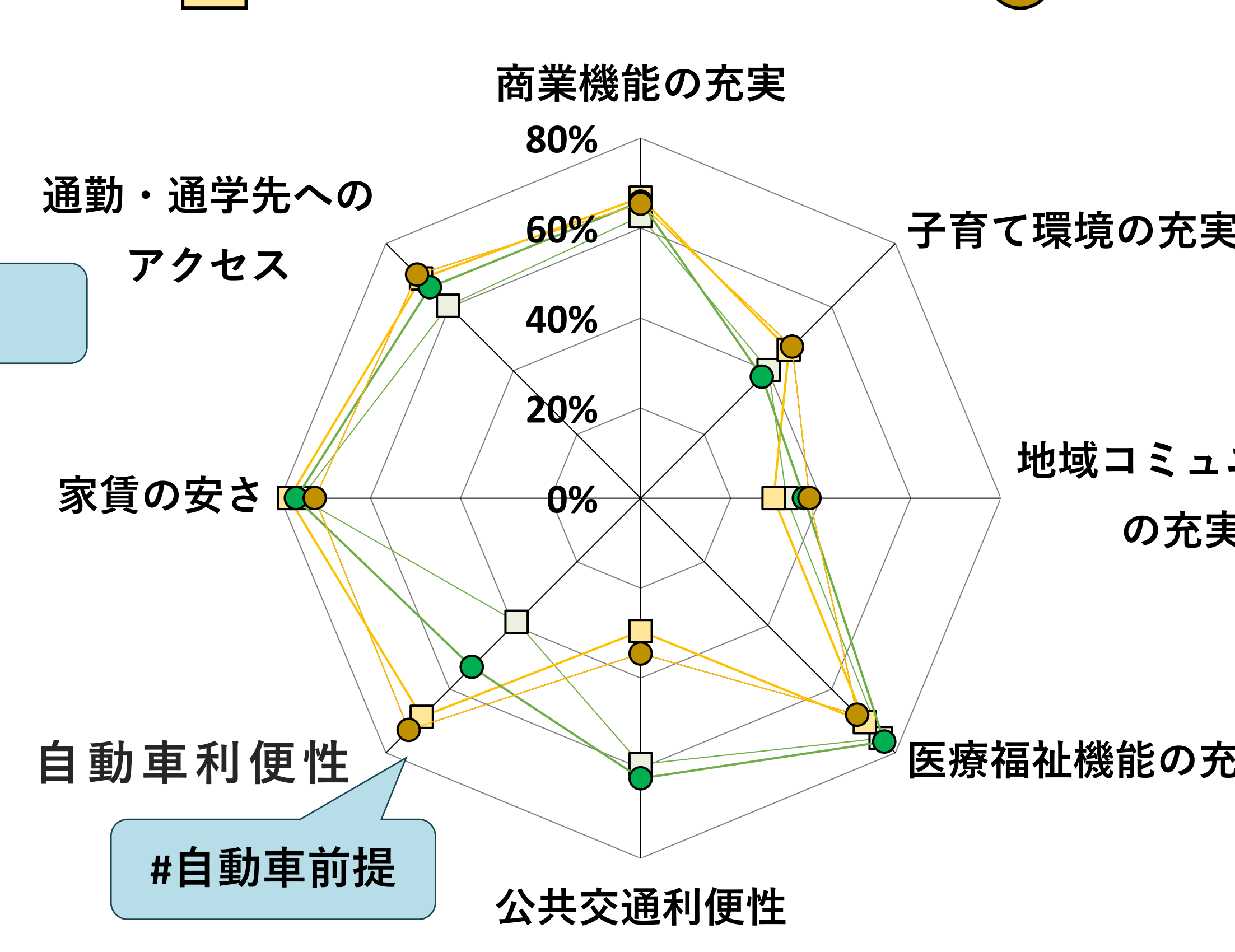
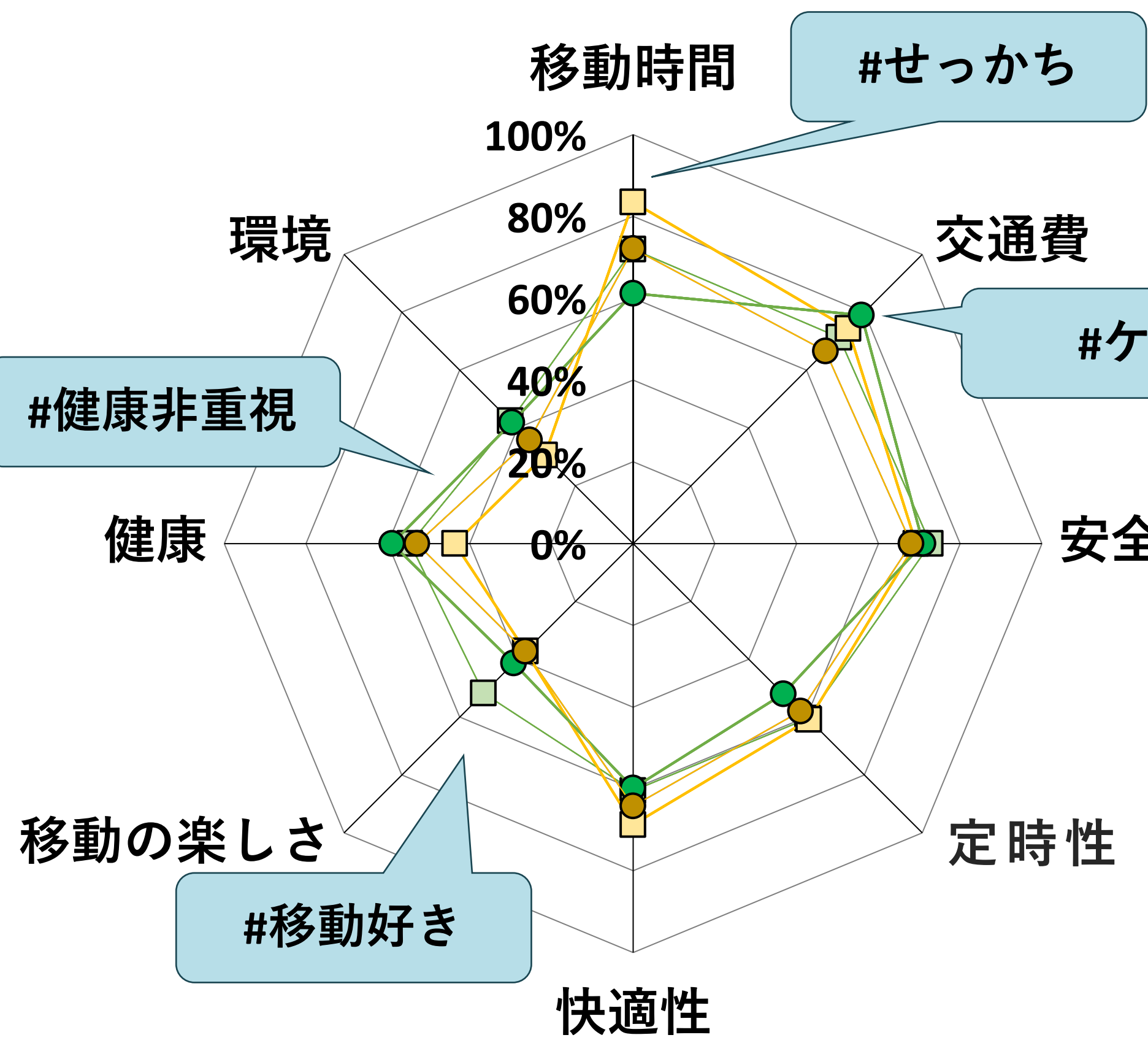
許容時間外立地 徒歩/自転車

許容時間外立地 自動車

許容時間内立地 徒歩/自転車

許容時間内立地 自動車

各項目を5件法で聴取
1-3:重視していない(0)
4-5:重視している(1)



5. まとめ

許容時間外立地 徒歩/自転車

#オンライン流出 #低満足度

許容時間内立地自動車

#移動コストかかる #健康非重視

◎Go-WALKに求められるMM政策

✓個人の主観に基づいたネイバーフッドの充実

✓健康促進 ✓O2O(Online to Offline)による外出MM